

Rotary Club of Sanuma

2024-2025年度 VOL 61

週報

佐沼ロータリークラブ

2024-2025テーマ

ロータリーの活動で 自分を変化させよう

ロータリーのマジック

2024-2025年度 国際ロータリーのテーマ

会長 太田陽平
 幹事 大畑好司
 会報 猪股育夫

例会場 ホテルサンシャイン佐沼
 ☎22-8180 FAX22-0327
 例会日 毎週木曜日 12:30~13:30
 事務所 ホテルサンシャイン佐沼
 ☎22-8180 FAX22-0327



第2925回例会 2024. 9. 19 No.11

本日の出席率

・本日の出席率 64%

ニコニコボックス

- ・太田陽平会員 千葉吉男会員、本日の卓話よろしくお祈りします。
 - ・千葉吉男会員 本日はスピーチをする事になりました。よろしくお祈りします。
 - ・佐々木崇会員 千葉吉男会員のスピーチに期待して。
 - ・八谷郁夫会員 千葉吉男会員スピーチ楽しみです。
 - ・菅野幸一郎会員 千葉吉男会員の急なスピーチ、御苦労様です。
 - ・高田次雄会員 二百十日(9/11)も無事通過、首頭を下げ早く刈り取ってほしいとおねだりしている稲穂。本日のスピーチは電気屋さんのプロ中のプロ、千葉吉男会員楽しみです。
 - ・及川昭宏会員 この世界の有様を見ると悲しくなります。
 - ・佐藤敬喜会員以下 本日のスピーチに期待して。
 佐竹孝行会員 猪股育夫会員 佐々木源悦会員
 岩渕正彦会員 熊谷敏明会員 高橋利光会員
 布施孝尚会員 富士原裕子会員 武川毅会員
 岩渕栄市会員 杉田広仁会員 佐藤早智子会員
 阿部靖公会員 佐藤哲弥会員 佐藤利尚会員
 村上正弘会員 佐藤郁子会員 佐藤淳会員
- 以上、ありがとうございます。

会長要件 太田陽平会長

毎週、会長要件で何を話そうかと考えて、恒例になりつつある「今日は何の日」を本日も話をしたいと思います。

今日9月19日(木)は秋彼岸の入り(初日)です。9月22日(日・祝)は中日(秋分の日)、9月25日(木)は秋彼岸明け(最終日)です。

現代における「彼岸」の読みは「ひがん」です。元々「彼岸」という言葉の語源はサンスクリット語の「paramita (パーラミータ)」で、日本においては音写語で「波羅蜜多(はらみた)」と表記されました。「波羅蜜多」の漢訳は「至彼岸(とうひがん) = 彼岸に至る」になることから、彼岸は「悟りの世界(お浄土の世界)へと辿り着く」という意味になります。

どうして春秋のお彼岸に私たちはお墓参りをするのかというのは、諸説ありますが、一般には「お浄土との距離が最も近くなり、ご先祖様への想いが通じやすくなる時期である」という考えからお彼岸時期のお墓参りが定着したといわれています。

また、「農作業が小休止して生活に余裕がある時期であったことから、元々お彼岸の時期にお墓参りや死者の供養(先祖祭り)を行う慣習が根付いていた」という説もあります。

日本には複数の仏教宗派が存在しますが、すべての宗派で般若心経が唱えられているわけではありません。般若心経が唱えられている主な宗派は天台宗、真言宗、曹洞宗、浄土宗で、般若心経を唱えない宗派は浄土真宗、日蓮宗です。般若心経を唱える宗派では、悟りの境地は自ら考え至るものであると考えられています。一方で浄土真宗と日蓮宗では阿弥陀様のお導きによって悟りの境地に至ると考えられています。

般若心経は唱えられる場面によって変化する經典です。例えば修行の際に唱えるのであれば、それは悟りの境地に至るための經典になります。ご葬儀の場であれば、故人の加護をお祈りし、あの世への安らかな旅立ちを願う祈りになります。読まれるタイミングは宗派によって異なりますが、納棺前やお通夜、火葬時などが多いそうです。仏教には「回向」という考え方があります。自分で得た「徳」を故人へ回し向けるという考え方です。追悼供養で般若心経を読経することによって、徳を積むことが出来るとされており、般若心

経は読む環境によって役割が変化します。

お彼岸には何をすればいいのかということになりますが、端的に言えば、先祖供養と六波羅蜜の実践です。具体的にどんなことをすれば良いかと言いますと、

1. 仏壇仏具の手入れ、掃除
ご自宅に仏壇がある方は、いつもより念入りに掃除をする。こころも清められ、六波羅蜜の実践にもつながるということです。
2. お墓参り：お彼岸といえばやはりお墓参りです。ただ、お盆同様お彼岸にお墓参りをする方が多いため、規模の大きい霊園などは混雑しがちですので、混雑しない時間に行かれると気持ち良くお参りできる。
3. お供え物について：春彼岸のぼた餅、秋彼岸のおはぎが有名です。それぞれ春の花である牡丹、秋の花である萩にちなんだものです。一般的にはぼた餅はこし餡、おはぎはつぶ餡で作ります。秋に収穫される小豆は春になると皮が固くなって食べづらいので、春のぼた餅にはこし餡を使うということだそうです。何より大切なのは、ご先祖に喜んでもらうことです。生前好きだったものをお供えすることです。

最後に、ご先祖に感謝すると共に、自分自身を見つめ直すためにもお彼岸が大変有意義な期間であることが分かります。皆様も是非、六波羅蜜の修行に励んでみてはいかがでしょうか。

幹事報告 布施孝尚副会長

- ・若柳RCより 2024-2025年度活動計画書が届く
- ・宮城県環境生活部より 令和6年度「みやぎの3R推進キャンペーン」における啓発活動の依頼が届く
重点取組期間(3R推進月間 10月1日~10月31日)
- ・登米市ミュージカルを支える会より 公演協賛に対するお礼状が届く
- ・登米市美術協会より 第25回登米市美術協会展協賛に対するお礼状が届く
- ・川崎大師RCより 会報が届く

各委員会報告

- ・60周年関係(及川昭宏総務部長) 例会終了後、60周年ゴルフ、観光の日程について話し合い決定したいと思います。該当する方はお残りいただきたいです。

◎感謝状授与



今週のスピーチ

千葉吉男会員

急にスピーチを担当することになり、準備ができませんでしたので、電気に関するお話をすることにしました。電気関係のカタログ等資料として配布いたしましたので参考にしていただければと思います。

最近電気料金がとても高騰しておりますが、女川原発が来年12月から発電するようです。しかし、どのような電気料金になるのか今のところわかりません。

電気料金を下げるには、太陽光と電気自動車を複合して設備すると今の電気料金の1/5位ですみます。そういった設備をうまく利用することによって電気料金をおさえることが出来ますので、その点をお話したいと思います。

電気自動車はすごいバッテリーを積んでいます。そのバッテリーに太陽光で発電した電気を充電します。直流を交流に変換しますので家庭の電気設備は全部使えます。これからは水素自動車というものもあるのですが、水素は非常に高く、安くなるのには何十年もかかるようです。そうしますと電気自動車の方が先に普及してくるのではと思っています。ただの太陽光を車のバッテリーに充電して、車のバッテリーで家庭の電気製品を使うことによって電力会社に支払う料金を下げることが出来ます。地震や豪雨等自然災害の際も、うまく電気自動車を利用して家庭の電気をつけることによって不自由な生活が緩和されます。現在でも太陽光設備に対する補助金制度(時期がある)もありますので、調べて補助金も活用して出来るだけ負担を少なくすることが出来ますので、電気屋さんにご相談されたらよいのかなと思います。

2027年末には、一般照明用蛍光灯の製造、輸出入が禁止されます。蛍光灯がなくなる前にLED照明器具に交換した方がよいと思います。LEDもだいたい安くなってきましたので、今のうちに交換すれば省エネにもなります。LEDはランプだけの交換ですとソケットが合わなかったりしますので、電気屋さんをお願いして交換することをおすすめします。

最近、自然災害が多く発生していますが皆様は災害用非常携帯袋を準備していますか。今までの災害の例で言いますと、携帯ラジオは必ず入れておいた方がよいそうです。何故かと言いますと、テレビの放送も携帯電話も使えなくなった場合に、ラジオだけは使えるそうです。電池は劣化しますので、ラジオとは別々にして非常袋に入れておくようにして下さい。又、軽いくつでよいので、それを入れておくとよいそうです。くつが一足あると自由に歩くことができます。携帯電話のモバイルバッテリーも必要です。人によっては薬も一週間分位は入れておくと安心です。

— 以下、紙面の都合上割愛させていただきます。

